

豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、継続的に点検・評価を実施しており、必要な改善や実情に応じた事務事業の見直しが行われ、年々充実したものになってきている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症により多くの行事が中止や縮小され、事務の執行が大幅に変更されている。

「就学前教育」及び「学校教育」については、9事業中A評価が3事業、B評価が5事業、C評価が1事業である。特に、「特別支援教育総合推進事業（早期からの教育相談・支援体制構築事業）」については、特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあり、今後も迅速かつ的確な対応が求められる。また、「心の問題への対応」についても、特に教育相談の果たす役割は今後も重要であり、期待以上に評価できるとした。「小・中・高校、幼稚園・保育園の連携」については、豊前市の特色ある取組みとして実施しており、更なる充実を期待する。一方、学校施設の老朽化に伴う修理・修繕、特にトイレ改修については、策定済みの長寿命化計画を参考に、今後の学校の適正化も踏まえて、計画的な施設管理を進める必要がある。

「社会教育」については、7事業中B評価が2事業、C評価が2事業、D評価が3事業となっている。「地域との連携」については、少子高齢化により子ども会等各種団体の活動の低迷が顕著化しており、地域づくり協議会との連携を図る等、地域ぐるみの活動としての実施の検討をお願いしたい。また、「地域活動の拠点としての体制整備」については、地域づくり協議会の活動拠点として、公民館のコミュニティーセンター化や指定管理者制度の導入等、更なる充実の検討をお願いする。

「スポーツ振興」については、3事業中1事業がB評価で、2事業がC評価になっている。

「体育施設の整備」については、厳しい財政事情の中、住民が安全安心に利用できるように施設整備を実施するのはもちろんだが、市民サービスの原点に立ち返り、制度の改善や体育機器の適切な配置等を行ない、住民が等しく自由に施設の利用ができるようお願いしたい。

「生涯学習」については、4事業中2事業がB評価で、2事業がC評価となっている。「豊前市生涯学習推進基本計画」については、令和2年度に第2次計画を策定しているが、今後は各地域で進展する地域づくり協議会活動が円滑に行えるよう、全庁的な取組みとして着実な計画の実施をお願いしたい。

「文化財の保護と活用」については、5事業1事業がB評価で、4事業がC評価になっている。「各種情報の発信」については、令和2年度に郷土の文化財等の学習用映像教材を作成しており、今後の学校教育のカリキュラムとしての活用に大いに期待したい。また、「保存と伝承活動の支援」については、次世代の子ども達への支援を推し進め、今後も国重要無形民俗文化財である「豊前神楽」や「感応楽」の継承に努めていただきたい。

「芸術文化の振興」については、3事業1事業がB評価で、2事業がC評価になっている。

「文化事業の実施、場の提供」については、指定管理者との連携を強化し、今後も市民の要望に沿った文化活動の実践をお願いしたい。また、築58年が経過し老朽化等が進行する市民会館の在り方について、関係部署・機関と更なる協議・検討をお願いしたい。市立図書館についても、指定管理者との連携を強化し、来館しやすいサービスの提供や市民の要望に沿った蔵書の確保、そして「学校図書館との連携」の充実をお願いしたい。

令和2年度の全体の評価としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の中止や十分に行えないものもあったが、感染防止対策を講じながら実施した活動も見受けられ、各係において創意工夫がなされており、その点については評価したい。

教育委員会は、今後コロナ禍における教育行政について改めて検討し、その時々状況に応じた方法で教育行政に対する知識を深め、課題の把握や教育行政に対する意見・要望等の把握に努められたい。

令和3年11月12日

森重高岑
戸田章